

平成26年度 第1回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

【日時】平成26年4月24日（金） 15:00～17:00

【場所】琉球大学医学部附属病院3階 がんセンター

【参加者】 5名：高橋 慶行（県立中部病院）、松野 和彦（那覇市立病院）、
増田 昌人（琉大病院がんセンター）、又吉美奈子（沖縄県教育庁）、
大湾 盛治（患者の立場の者）

【欠席者】 5名：長井 裕（琉大病院産婦人科）、奥平 忠寛（県立宮古病院）、
山本 孝夫（県立八重山病院）、赤松 道成（北部地域医師会病院）、
座安 純一（沖縄県教育庁）

【陪席者】 1名：井上 亜紀（琉大病院がんセンター）

会議に先立ち、部会委員の自己紹介を行った。

【報告事項】

1. 平成25年度第3回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨
資料1に基づき、平成25年度第3回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨が承認された。
2. 【施策2】がん検診啓発活動(ポスターコンテスト)の企画・牛乳パック広告(宮平乳業)について
資料2に基づき、高橋副部長より、今年度も無償で牛乳パックの広告欄に、がん検診ポスターコンテストの受賞作品(アイディア賞)を掲載して頂くことになったとの報告があった。また、各部会員より、この牛乳パックが既に小売市場に出回っているとの報告もあった。事務方より、今回から広告欄には、受賞者の学校名と氏名掲載しているとの報告もあった。
3. 【施策4】学校教育機関またはPTAを媒体としたがん啓発活動について
資料3に基づき、高橋副部長より、①県立高等学校保健体育主任等研究協議会{平成26年4月30日(水)}は、がんセンター長の増田委員を講師として、「学校現場におけるがん教育について」のテーマで講義を行う予定であることが報告された。
②養護教諭5年経験者研修{平成26年7月22日(火)}は、講師について協議の結果、がんセンター長の増田委員と琉大病院骨髄センター長の百名先生を講師として、「がんの総論」、及び「小児がんについて」のテーマで、養護教諭5年経験者研修会を行うことが承認された。
増田委員より、琉球新報4/15, 4/22記事「がんを考える」で、学校で行うがん教育についての記載があったこと、学研の学習まんが「がんのひみつ」が、沖縄県を含む全国の小学校に配布され電子書籍として無料で購読できることが報告された。
4. 平成25年度の事業計画の評価(最終)について
資料4に基づき、高橋副部長より、メディアセミナーの実施、教職員や保護者への講演会の開催、ポスターコンテストの実施、一般市民へのがん情報の提供としてのラジオ特別版組の放送、一般向け講演会の人材バンクの作成は、滞りなく終了できたとの報告があった。増田委員より、離島におけるがんに対する研修会については、地域統括支援センターの事業とタイアップしてできないかを検討してアイデアをいただきたい

との意見があった。また、沖縄本島において、患者会が行政・医療者にどのように提言するか研修会である「がん政策サミット」ミニ版を8月に行う予定であることの周知があった。引き続きの次年度の課題としては、学習まんが「がんのひみつ」等の教材の周知、がん種毎の担当医一覧の更新、企業へのアンケート調査が上がっていた。

【協議事項】

1. 平成 26 年度の部会委員、部会長、部会委員の選定について

資料 5 に基づき、高橋副部会長より、新部会員の確認があり、部会長には前年度に引き続き、長井部会長にお願いしたいと全員一致の意見であった。長井部会長には追って確認し、副部会長は、高橋副部会長の今年度の業務によって難しい場合は、松野委員に依頼することが了承された。今後の部会の開催について、スカイプご参加の宮古病院の奥平委員、八重山病院の山本委員、北部地区医師会病院の赤松委員を含む、部会の皆さんに開催日・曜日の調整表を配布し、参加可能日の確認作業を行うことになった。

2. 平成 26 年度の行動計画について

資料 6 に基づき、下記のように主担当が決定した。部会活動の中で、適宜、部会員の協力を仰ぐことが了承された。★印は主担当、部会長に副担当をしていただくことで了承された。

【施策 1】 ★増田委員（メディアセミナー）

【施策 2】 ★高橋副部会長（ポスターコンテスト）

【施策 3】 【施策 4】 【施策 5】 ★又吉委員（学校教育機関・PTA へのがん啓発活動 1,2,3）

【施策 6】 ★増田委員（離島における講演会） 【施策 7】 ★松野委員（がん啓発ラジオ番組）

【施策 8】 ★増田委員（一般向け講演者リスト）

【施策 9】 ★増田委員(がん種別の担当医リスト)

【施策 10】 ★増田委員（企業向けのがん検診への理解）

なお、メディアセミナーは年1回とすること、ポスターコンテストは予算を3拠点病院で分担して進めること、学校教育機関へのがん啓発活動は、又吉委員より、4/30の各市町村小中学校の指導主事研修会や6月の養護教諭研修会で、がんについての教材等のPRをする等の協力を得ることになった。離島におけるがんに対する研修会は、他のイベント等とタイアップして行う。

ラジオ番組は昨年度同様、9月にキャンペーンについてラジオ局と要検討ではあるが、消化器がんについて・先進治療について・新薬について・内視鏡について・保険診療（お金のこと）について・高額医療費制度について・検診の啓発・県保健医療部健康長寿課に協力いただくこと・ワクチンに関する正確な情報提供・がん患者さんの生の声・がん保険（ライフプランナーなど）について、などがテーマとして協議された。追ってラジオ番組側と検討し、詳細検討していくことで了承された。

職場でのがん患者さんの就労と治療との両立支援の小冊子が、県から各事業所へ配布されることから、企業へのアンケート依頼等は、経営者協会、商工会などに打診して行

う。事務方より、アンケート案を修正し、追ってご意見をいただく様、依頼があった。

3. 平成 26 年度の予算について

資料 7 に基づき、経費内訳の確認が行われ、昨年度と同様に、【施策 2】がん検診啓発ポスターコンテストでのポスター印刷のように、各拠点病院での経費分担をすることで、協議の上、予算案が了承された。

4. その他

①患者必携地域の療養情報がんサポートハンドブック第 4 版

増田委員より、3月に発行された第 4 版の紹介があり、県内の療養情報、特にお金のことなどに厚い内容となっているとの報告があった。厚労省がん診療提供体制のあり方に関するワーキングでも、拠点病院の取り組みの好事例として紹介されている。

②事業者と働く人のための がん治療と仕事 その両立支援のポイント

増田委員より、3月に発行された小冊子の紹介があり、県内の 10 人以下の事業所へ配布し、アンケート調査を行うこと、その他、県へ研修会や配布先の提言を行っていることが報告された。増田委員より、親戚や世間にごんと知られたくない患者さんもいるが、初診時の患者さんには、遺伝しない・伝染しないとお伝えしているとの意見があった。大湾委員より、単に働く人と事業者との関係ではないとの意見もあった。

③普及啓発部会の事業について

増田委員より、本部会事業は、研修会は他の部会でも行うところがあり、検診は、ラジオ番組・ポスターコンテストを行うこと、約 5 年前の部会の創立期から、がん教育に焦点を当てて力を入れており、教育庁にもご協力頂き、今に至っているとの報告があった。

5. 次回、第 2 回 普及啓発部会 開催日について

第 1 候補日 : 7 月 29 日(火)15:00~

*原則はこの日とし、追って、部会の開催についてアンケート調査を行うことになった。